

山桜日本一を 活用した、通年 の振興・誘客



飯島洋省 議員

問 年間を通して山桜を手がかりに人を呼べる、住んで楽しく観光誘客の促進につなげる具体的な仕掛けが必要ではないか。

答 経済部長 年間を通じて観光客を呼び込むまちづくりが課題となっており、山桜の活用については

市民の皆様とともに新たな仕掛けを考えていきたい。提案のあったプロジェクトやさまざまな映像技術、光や音を活用した事例がありますが、の課題はありますが、夏秋冬にも山桜の姿を見せられる方法として検討していきたい。

移住促進への隠れ待機児童対応

問 幼児保育の隠れ待機児童について、把握している状況と改善への考えを伺う。

答 保健福祉部長 第1希望以外を希望しない方も多く、隠れ待機児童は若干名います。児童数が減少する中でも、低年齢の保育需要がふえてきており、保育士の確保に努めます。児童数と反比例して特別な支援を要する児童もふえており、保育士の加配を要する児童等の受け入れにも対応します。

農業にかかわる企業誘致

問 常総アグリサイエンスバレー事業に見る農地開発と農業に関する企業誘致について、市も独自の取り組みや、国・県・民間の資金の取り込み等検討してはどうか。

答 経済部長 この事業を行うことにより、「地域農産物の新たな販路の開拓」や、「多様性のある地域雇用の創出」「新規就農者の確保」「農業従事者の所得増大」「観光客の増加」とあらゆる効果が見込まれます。他自治体の事例を参考にどのようなことができるか、今後検討していきたい。

その他の質問

- ・農地の利用集積、集約化推進の取り組み
- ・廃棄物の不法投棄、無許可での残土埋め立て
- ・市内廃プラスチック置場の状況と対応

地域包括支援センターの内容と役割



市村 香 議員

問 2025年をめぐりに、高齢者の尊厳の保持と可能な限り住みなれた地域で人生の最期まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を推進しているが、桜川市の地域包括センターの役割と内容について伺う。

年度は196件に及ぶ相談があり、介護や日常生活に係る総合相談が165件、高齢者虐待等の権利擁護に係るものが17件、そのほか14件でした。特に近年は、認知症に伴う家庭内の問題や近隣トラブル等の相談が増加しており、警察等との連携は欠かせません。また複合的な内容の相談も多く、他課との連携も重要です。

在宅医療・介護連携推進事業の今後の進め方

問 在宅医療・介護連携推進事業の現在の状況と今後の進め方を伺う。

答 保健福祉部長 桜川市には70歳以上で独居の高齢者が

約1100名おり、救急医療情報キットを配付し、救急時の迅速で正確な情報提供体制を構築。昨年10月に開院したさくらがわ地域医療センター内に相談支援窓口を開設し、110件ほどの相談がありました。

桜川市の生活支援整備について

問 10年後、20年後、将来に向けて全国の市町村で住民も行政も一緒になった新しい地域づくりが一緒に始まっているが、桜川市の生活支援整備はどの程度進んでいるのか伺う。

答 保健福祉部長 住民みずからが地域の困り事に気づき、その解決に向けた主体的な行動をするための協議体の発足に向けて、まさに指導したところ

近隣拠点地域を結ぶ 道路整備について



谷田部由則 議員

問 通勤や通学で使う本市と近隣の拠点地域を結ぶ幹線道路の整備について、本市はどのように考えているのか。

答 建設部長 国道50号線は、長方市内1・2キロメートルの4車線化が計画され、用地買収を実施しており、長方地先から筑西市蓮沼地先に至る協和バイパスは、筑西市と合同で事業化に対し、国土交通大臣への要望を行いました。県道東山田〜岩瀬線は、今年度は台山高森工業団地人口交差点の

改良工事が行われる予定です。

問 本市からつくば市方面へのアクセスは、市民にも高い関心があります。具体的な方策があれば伺いたい。

答 建設部長 つくば市中心街から国道408号線を経て旧菅間小跡まではバイパス改良されていますが、そこから本市境のつくば市上大島地区までは、主要地方道筑西〜つくば線の現道区間となっています。この間の区間のバイパス改良を国や県に働きかけていこうと考えています。

桃山学園通学路整備事業

問 桃山学園の通学路について、進捗状況を伺う。

答 建設部長 今後としては、用地買収の状況にもよりますが、令和2年度中に工事に入るように進めていきたいと考えています。また、以前から整備が進められていた源法寺橋付近から伊佐々地内までの箇所については、今年度より工事に入りたいと考えています。事業全体の完了は、令和5年度を目指し進めていきます。

岩瀬工業団地の道路整備



軽部 徹 議員

問 この道路が開通すれば、市内への企業誘致が前進すると同時に、北部地区を生活も便利になる。できるだけ早く進めていただきたいと考えているが、現在の進捗状況を伺う。

答 建設部長 本路線は、ラスカから山林を北に向かい、南飯田地区まで抜ける南北延長1・45キロ

小中学校のエアコン

問 小中学校のエアコンの設置状況について伺う。

また、エアコンは積極的に活用してほしいと考えているが、利用状況と活用方針についても伺う。

答 教育部長 昨年夏の猛暑を受け、文科科学省の臨時特別交付金を活用して、市内の小中学校で空調整備を行いました。現在、市内の学校の普通教室におけるエアコンの設置率は、100%になっています。利用状況ですが、夏休みの登校日にはエアコンを活用し、快適な

ICTを活用した英会話学習

問 ICTによるフィリピン小学校との英会話学習について、現状と今後の予定を伺う。

答 教育部長 現在、岩瀬小学校・桃山学園・雨引小学校で英会話交流事業を実施。児童にも好評であり、英会話教育の手段として効果が期待できるものと考えています。今後、市内のほかの小学校でも導入を考えていきます。